

平成30年度 事業報告

令和元年5月

社会福祉法人 あさひ

【法人本部】

1. 法人全体の利益のために主体的に貢献できるような職員へと育成を図るため、人事考課制度の導入取組を活用して、組織・機構の見直しにより部・課・係を位置付けるとともに、法人職員として求められる職員像を描いて、法人としての進むべき方向性を探りました。
2. 職員給与規程や定款施行細則・就業規則など、規程・規則の見直し改訂を図るとともに、弔慰金規則や委員会等設置規則など新規規則の制定を進めることにより、科学的な根拠に基づいて社会福祉法人を運営していく基盤の確立を進めました。
3. 質の高いサービス提供を図るために必要な安定的な財源確保のため、組織・機構の見直し、給料表の制定や人事考課制度の導入など、キャリアパスを柱とした人事・給与制度改革に法人を挙げて取り組み、平成 31 年度から福祉・介護職員処遇改善加算 I の取得を達成することができました。
4. こうした成果の中でも、人事考課制度の導入では、評価は試行に留まり、目標設定による業務管理なども十分に組み込むことが充分できなかったため、次年度に継続課題として取り組んでいきます。

【訪問介護課 訪問介護係】

1. 事業運営方針に関する取組

(1) 在宅福祉サービスの充実と、地域に密着したサービスの提供

- ① 居宅介護支援事業所や地域ケアプラザ等の関係機関との連携を密にし、地域ニーズの把握に努め、在宅福祉サービスの推進に努めました。
- ② 介護保険事業及び障害福祉サービス事業への取り組みを強化し、地域に貢献する在宅福祉サービスの拡充に努めました。
- ③ 各区関係各課や児童相談所等との連携を密にし、増加する子育て支援サービスに対応するための体制を整えました。

(2) 訪問介護事業に関する研修の充実

- ① 訪問介護サービスの提供に関する研修会に積極的に参加し、職員の専門性および実践力の向上を図りました。
- ② 人権研修、接遇研修等に参加し、職員資質の向上を図りました。
- ③ サービス提供責任者研修会へ参加し、業務管理と人材育成を適切に行いました。

2. 事業実施目標・実績

(1) つるみ

(単位=人)

	平成 30 年度利用目標	平成 30 年度利用実績
介護保険	102 うち日常生活支援事業 20	172 うち日常生活支援事業 20
定期巡回 (委託)	10	3
障害者総合支援	100	102
子ども支援 産前産後支援	7	1
同 養育支援	5	2
同ひとり親・里親養育援助	5	2

(2) たすけあい

(単位=人)

	平成 30 年度利用目標	平成 30 年度利用実績
介護保険	125 うち日常生活支援事業 38	109 うち日常生活支援事業 33
障害者総合支援	77	93
子ども支援 産前産後支援	35	7
同 養育支援	6	2
同ひとり親・里親養育援助	7	2

<つるみ>

介護保険は計画目標より利用者増を実現しましたが、日常生活支援に移行する利用者も増加しました。障害者総合支援では居宅・移動の依頼が各地域ケアプラザや基幹相談支援センターからの問い合わせや依頼により増加しました。今後、複雑かつ包括的な支援が必要とされるケースが増加することは確実であり、関係各所との連携強化はもちろんのこと、効果的な支援を提供するための複合的計画策定能力、それを提案し調整する能力の強化も急務と言えます。

<たすけあい>

介護保険の利用者数が減少傾向にあり、障害者総合支援が伸びています。港北区は、全市値及び全国値と比較すると団塊ジュニアから下の世代が多く、65歳以上の老年人口が少ない傾向にあります。高齢化率は19.6%と全市値24.4%(平成31年1月現在)を下回っていますが、すべての地区で単身世帯割合が30%を超え、特に菊名地区では50%を超えています。このため高齢で在宅生活に不安を感じると施設への入所に至るケースが多く、利用者数減少に影響しています。また、子育てに家族の支援が得られない世帯、障害で日常生活に支障がある単身者や少人数の世帯への支援も増加しています。

全国的に人口減少する中、港北区は今後も人口増加が予測され、区南西部にあたる菊名周辺には、単身や老夫婦世帯の高齢者など支援を要する方が多く居住します。地域で支える体制が必要であり、引き続き、地域包括支援センターや区役所・関係事業者などとの連

携を図っていきます。また、日吉・綱島・樽町地区は、子育て世代が増加しており、子育て支援の依頼も増えています。子育て支援から、親の精神障害手帳取得により障害サービスに移行するというケースも複数みられました。

《各事業所共通》

高齢者、障害者、児童、それぞれへのサービスが複合的に、「世帯への支援」として求められるケースが増加している点が顕著にみられます。しかし、介護保険法にしても、障害者総合支援法にしても、個人への支援を想定しており、また公的な支援機関は、未だ縦割りの支援にしか当たれないケースも存在します。複数のサービスを組み合わせて効果的な支援を展開する柔軟なコーディネートは、現場をよく知る事業者の役割として重要性、必要性の増大は必至です。

当然、サービス提供責任者へ求められる知識・能力も広範囲化、複雑化していく傾向にあり、情報収集の徹底や、各種研修への参加を通じて、さらなる自己研鑽を図ることが求められます。また、そうして得た知識・能力を、的確にヘルパーに伝えていく努力も継続して行っていく必要があります。

3. 事業実施報告

(1) サービス提供と向上

① ●情報公表

調査実施日 <つるみ> 10月24日
<たすけあい> 11月20日

●自己評価

<つるみ>

実施日 10月20日 総合点 91.2点

「人材育成」「就業環境整備」に関しては及第点が得られたものの、「組織体制」「リスクマネジメント」に関しては不十分と言う評価でした。組織としての仕組みを今一度見直し、効率的かつミスのない業務運営を心がける必要があります。

<たすけあい>

実施日 11月11日 総合点 95.5点

組織体制の見直しに取り組み、業務効率化や人材育成に努める必要があります。

●利用者アンケート

評価結果公開日 10月25日 配布数 30 回収数 30 回収率 100%

<つるみ> 総合点 92.5点

<たすけあい> 総合点 91.4点

《各事業所共通》

総合的には一定の評価を得ましたが、「説明」の領域に関しては課題を残す結果になり、両事業所とも法制や制度について一層の理解を深め、情報を共有し、説明力を身につける必要があります。

- ② 利用者のニーズに沿った介護サービス計画を作成し、計画に沿ったサービス提供を行いました。
- ③ 身体介護等の提供にあたり、より安全かつ快適なサービスを提供する為に、業務マニュアルの見直し及び改善を図り、利用者の身体の変化にも的確に対応するように努めました。
- ④ リスクの分析、評価を定期的に行い事故防止につなげるために、つるみ・たすけあい事業所で合同のサ責会議を開催しました。また、各事業所でケアマネジャーとの連絡会議を定期的に行うほかに、リスクマネジメント委員会にも参加し、情報の共有を図りました。

合同サ責会議

実施日 2月14日

処遇改善加算、つるみ事務所の補助の人員確保についてなど、たすけあい・つるみでの意見交換を行いました。活動などがあり全員の参加は困難ではありますが有意義な話し合いができました。

(2) 地域福祉への貢献

- ① 一人暮らしや在宅生活で介護を必要としている高齢者へのサービス提供を推進しました。
- ② 在宅やケアホーム等で生活している障害者について、居宅介護や移動支援等のサービスを推進しました。
- ③ 手助けを必要としている子育て家庭について、必要な支援提供を推進しました。そのほかに、担当者会議や個別支援会議を通じ、各地域ケアプラザ、居宅介護支援事業所、相談支援事業所、基幹相談センター、また訪問介護事業者他社と積極的な情報交換、情報共有を実施しました。

(3) 職員資質の向上と人材の育成

内部研修及び外部研修に参加しました。詳細は別紙の附属明細書参照。

① 外部研修

平成30年度は研修に参加できてはいますが、更なる知識の向上を図る為に積極的に全員が参加できるよう検討していきます。並行して内部研修も充実し始めた為、外部研修の成果を職場内で共有することも可能になってきています。今後は、この成果をヘルパーに伝えていく具体的な方法を策定していく必要があります。

② 内部研修

ヘルパー全員を対象とした研修を年3回実施したほかに、サービス提供責任者を対

象にした研修を事業所別に開催しました。座学とグループ討議、高齢者支援と障害者支援、概論的知識と実践技術、それぞれをバランスよく学ぶことができ、ヘルパーからも好評でした。普段は個別に利用者を訪問する為、あまり顔を合わせる機会のないヘルパー同士の交流を図ることもでき、意識の統一化、モチベーションの向上にも一定の効果が見られました。

- ③ 介護福祉士・介護福祉士実務者研修・同行援護従業者研修等の資格取得の奨励及び支援の為の活動の調整を行いました。

4. 事業実施体制

(単位=人)

職 種	職員数	つるみ		たすけあい	
		常 勤	非常勤	常勤	非常勤
管 理 者	4	2		2	
サービス提供責任者	10	4	1	5	
訪問介護員 小 計	144				
・介護福祉士	18				
〔・ヘルパー2級	126				
・ヘルパー1級					
・介護職員初任者研修					

サービス提供責任者に関しては、福祉協会つるみ24への転出等もあり微減となりましたが、常勤職員数は増加し、実質的には増勢しました。ただし、先述のとおり、地域のニーズは複雑化しており、困難ケースへの直接支援、子ども支援専任担当の設置等を考えると、十分な数とは言えない現状です。

ヘルパーに関しては、退職者が出る中で増加傾向にあるのは一定の成果ですが、その分新人ヘルパーへの指導などにかかるサービス提供責任者の負担も大きくなっています。社会情勢を鑑みると、今後も大幅な人員増加は見込めないと思われる為、現役ヘルパーの稼働時間をいかに伸ばしていくかが、目下の課題となっています。

介護福祉士をはじめとして、同行援護従業者養成研修や介護職員実務者研修の受講など、法人としてヘルパー・職員の資格取得、資質向上のバックアップを積極的に行っていく姿勢は成功を収めており、今後も継続していきます。

【居宅介護支援課 居宅介護支援係】

1. 事業運営方針に関する取組

事業運営方針に基づいて、適切なサービスの提供、研修への参加、他職種との連携を図りました。

- (1) 利用者の心身の状況、その置かれている環境等に応じて、その利用者が可能な限り

その居宅において有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう利用者の立場にたった援助を行いました。

- (2) 事業の実施にあたっては、利用者の意思及び人格を尊重し、利用者の選択に基づき適切な保健医療サービス及び福祉サービスが、多様な事業者から総合的かつ効率的に提供されるよう中立公正な立場でサービスを調整しました。
- (3) 事業の実施にあたっては、地域との結びつきを重視し、市町村、地域包括支援センター、老人介護支援センター、他の指定居宅介護支援事業者、指定介護予防支援事業者、指定居宅サービス事業者等、介護保険施設、住民による自発的な活動によるサービスを含めた地域における様々な取り組みを行う者等と密接な連携を図り、総合的なサービスの提供に努めました。

2. 事業実施目標・実績

(1) つるみ事業所

(単位=人)

居宅利用者数		平成 30 年度目標	平成 30 年度実績 (1 か月平均)
		214	206
内 訳	要介護	170	162
	要支援	44	43.5
平成 30 年度の新規依頼			5

(2) たすけあい事業所

(単位=人)

居宅利用者数		平成 30 年度目標	平成 30 年度実績 (1 か月平均)
		250	228.7
内訳	要介護	200	181.25
	要支援	50	48
平成 30 年度の新規依頼			3.8

3. 事業実施報告

(1) 法改正の趣旨を理解し更なるサービスの向上に努めました。

- ① 各介護支援専門員が説明会や研修等に積極的に出席し情報収集及び共有を行い、十分な知識のもと利用者へ説明することができました。
- ② 医療機関との連携について、担当者カードを作成し利用者に配布しました。入院退院時の情報提供について、各介護支援専門員が積極的に病院等へ出向いて、訪問面接やカンファレンス等の出席をすることで情報を共有し、利用者の在宅復帰につなげて

いくことができました。

(2) 実習生の受け入れ体制は整えていましたが、平成30年度は申し込みがありませんでした。次年度も同様に体制は整えていきます。

(3) 計画相談支援部門とは、日常的に情報共有し連携をとっています。

(4) 主任介護支援専門員研修について、2名が研修に参加しました。1名は修了し、1名は次年度に持ち越しとなりました。(1回受講できなかったため)

(5) 情報公表・自己評価・利用者アンケートについて

① 情報公表

調査票提出日 <つるみ> 平成30年9月4日

<たすけあい> 平成30年9月28日

② 自己評価

実施日 3月4日 管理者評価 <つるみ> 96.7点

<たすけあい> 96.7点

「サービス内容」「利用者本位」については一人ひとりの介護支援専門員が意識を高め実施しています。「人材育成・就業環境整備」「リスクマネジメント」については前年度より実施できてはいますが、行き届かない部分があるため引き続き力を入れていきます。

③ 利用者アンケート

評価結果公開日 10月25日 配布数30 回答数30 回収率100%

<つるみ> 総合点97.1点

<たすけあい> 総合点95.5点

利用者からは一定の評価を頂いています。「対応」について高い評価を頂きましたが、「説明」の領域の点数がやや低い為、利用者が納得できるような説明力を養えるように次年度も引き続き定例会議等で情報共有し、ケーススタディやロールプレイを実施していきます。

(6) 研修

① 内部研修

・介護保険改定に伴い医療との連携強化のため港北区医療相談室の看護師による勉強会を開催しました。

*第1回 7月19日「口腔ケアについて」

《内容》 高齢者の口腔内の状態が健康に影響することを学びました。高齢者の死亡原因の上位に誤嚥性肺炎があり、それを起因として嚥下障害を引き起こすこともあり、嚥下障害から寝たきり状態になるリスクも高くなっていきます。口腔ケアで予防できる事もある為、利用者の健康状態を把握する必要知識を習得することができました。

*第2回 11月22日「看取りについて」

《内容》 在宅で終末期を迎えたいと希望する利用者が増えています。その為、安心して在宅で看取る為に、終末期にはどのような身体的症状が予測されるのか、また知識や福祉・医療専門職の関わり方と学びました。

② 外部研修

- ・平成30年度 神奈川県介護支援専門員研修過程Ⅱ
- ・平成30年度 神奈川県主任介護支援専門員研修
- ・各自、地域包括支援センター等の研修に参加

③ 他事業所との共同事例検討会

*第1回 6月20日 参加者：ケアステーションきらら鶴見5名・ケアステーションきらら大倉山2名・ケアステーションきらら川崎小倉・3名 福祉協会つるみ6名・福祉協会たすけあい6名

《内容》 質の高いケアマネジメント推進のための共同事例検討会

*第2回 10月17日 参加者：ケアステーションきらら鶴見4名・ケアステーションきらら大倉山3名・ケアステーションきらら川崎小倉・4名 ももたろう居宅介護事業所2名福祉協会つるみ7名・福祉協会たすけあい8名

《内容》 事例検討会のルールKITTYメソッドを学ぶことを目的としました。

方法：質疑応答により情報収集しその情報を踏まえて人物像についてアセスメントを行います。1つの事例をいろいろな方向や、本人だけではなく家族の立場から考えることで今まで見えていなかったことの気づきにつながります。また、事例提供者はそれまで気付かなかったことに気づき新たなアプローチ方法が見つけられるようになります。

他事業所との交流、意見交換ができ面接力・質問力のトレーニング方法を学ぶことができました。

4. 事業実施体制

(1) 事業所の営業日及び営業時間は次のとおりとしました。

① 営業日：12月30日から1月3日と祝日を除く月曜日から金曜日としました。

11月から営業日変更となりましたが、利用者やサービス事業所等へは書面にて事前説明し、了承を得たので大きな混乱等はありませんでした。

② 営業時間：午前8時45分から午後5時30分までとしました。

③ 電話等により24時間連絡可能な体制としました。

(2) 事業職員体制

① つるみ

(単位=人)

職 種	従業する業務	職員数	(常勤)	(非常勤)
管 理 者	管理業務	1	1	
介護支援専門員	居宅介護支援	7	7	0

② たすけあい

(単位=人)

職 種	従業する業務	職員数	(常勤)	(非常勤)
管 理 者	管理業務	1	1	
介護支援専門員	居宅介護支援	8	7	1

【居宅介護支援課 計画相談支援係】

1. 事業運営方針に関する取組

(1) 区地域自立支援協議会、区基幹相談支援センターその他の関係機関と連携を図るため、自立支援協議会の各部会に出席しました。

(2) 個別支援会議の開催を通し、他事業との連携を図りました。

つるみ	個別支援会議及びモニタリングの回数	163 回
たすけあい	同上	149 回

(3) 各部会、事例検討会に出席し連携を図った。

つるみ	4 回
たすけあい	4 回

2. 事業実施目標・実績

	目標値	実績	達成率
つるみ	30 件	40 件	133%
たすけあい	40 件	32 件	80%

〈つるみ〉

平成 30 年 11 月より事業実施体制が変更になり、常勤専従 1 名、常勤兼務 1 名に増員になりました。それに伴い 11 月以降、たすけあい担当分 4 名+たすけあい担当予定分 1 名をつるみ担当に移管しました。更に 2 名体制のため、鶴見区役所や基幹相談支援センターからの新規依頼を多く受け、目標を達成しました。

〈たすけあい〉

ケアマネジャー業務兼務による体制の為、介護保険利用者の依頼を優先して受けており、相談支援に関しては基本的に法人内障害者施設の利用者に限って依頼を受けています（ただし、他のケアマネジャーとの連携で介護保険利用者の家族等の新規は受けています）。さらに上記つるみ移管分の利用者減の他、入所等での終了者があったため、目標達成に至りませんでした。次年度の目標達成を目指します。

3. 事業実施報告

(1) 危機管理

個人情報保護規定により適切に個人情報管理に対応しました。

(2) 職員研修

- ① 内部研修 事例検討会を1回開催しました。
- ② 外部研修 ア) 区地域自立支援協議会主催の相談支援部会研修 年4回
イ) 区基幹相談支援センター主催研修 年4回

(3) 地域・関係機関との連携

自立支援協議会、区基幹相談支援センター、区精神障害者生活支援センター、その他関係機関との連携を図るため、各機関で開催のカンファレンスに2か月に1回の頻度で参加しました。

4. 事業実施体制

(単位=人)

	管理者	相談支援専門員	
つるみ	常勤兼務 1	常勤専従 1	常勤兼務 1
たすけあい	常勤兼務 1	常勤兼務 1	非常勤兼務 1

【障害福祉部門】

1. 事業運営方針に関する取組

- (1) 障害者の地域生活を支援するため、住居・就労・趣味・健康づくり・余暇活動など生活全般にわたる自立生活のための支援を行いました。
- (2) 温かい人間関係の中で、開かれた明るい生活ができることを目指しました。

2. 事業実施目標・実績

(1) 利用者への対応

- ① グループホームでの生活、就労・生活支援施設「つるの里」での就労・生活について、施設職員が見守り、寄り添い、必要な助言・支援が的確に受けられるように個人を理解しながら支援に励みました。
- ② 利用者の意向や状況、保護者の意見を把握し、支援員、ソーシャルワーカー、看護師、栄養士など専門職のカンファレンスを実施することで、的確に対応できるよう努めました。

(2) 利用者数

(単位=人)

事業所名	利用目標	利用実績	備考
つるの里			
生活介護	10	11	
就労継続支援B型	10	11	
ケアホーム らら	8	8	うちサテライト 1
ケアホーム りり	8	8	
ケアホーム るる	7	6	うちサテライト 1
ケアホーム もも	7	7	

3. 事業実施報告

(1) 鶴見区障害者団体連合会など加盟する団体の文化・スポーツ・広報活動に積極的に参加しました。

<具体的な活動>

- ・ふれあい運動会
- ・ふれあい文化発表会
- ・赤い羽根共同募金（鶴見駅周辺）
- ・障害者キャンペーン（ティッシュ配布）
- ・ラポール美術展示会 等

(2) 地域の自治会町内会や、区役所、関係団体のイベントに参加し、交流を深めることで、利用者の地域生活を豊かなものとするとともに、地域の方々に広く知られる開かれた施設を目指し、イベント等でつるの里パン工房製のパンや手作り製品を販売しました。

<具体的なイベント参加>

- ・障害者週間区役所ロビー販売（鶴見区役所）
- ・夏祭り（東寺尾北部町内会）
- ・鶴っこ部会区役所販売（鶴見区役所）
- ・鶴見駅 CIAL 販売
- ・イトーヨーカ堂販売 等

(3) 施設の実施する施設内事業を様々な機会をとらえて開催し、利用者相互の交流を深めあいました。

<具体的な事業・イベント>

- ・誕生会
- ・節分豆まき
- ・ひな祭り
- ・七夕まつり
- ・流しソーメン
- ・クリスマス会
- ・餅つき大会
- ・ハイキング
- ・花火大会

(4) 就労作業の充実を図りました。平成 30 年度は、アイロンビーズ・ペーパークラフト等で売り上げを伸ばしました。又パン販売では、販売経路を広げて売上を伸ばしました。

- ・パン工房の製品充実
- ・農作業の充実
- ・各種製品作りの充実

(5) 施設外就労の実施。

・ポスティング 年2回 ・公園清掃 年10回

(6) 「グループホームすず」の開設のため書類を整備し、横浜市健康福祉局に認可申請を行い、平成31年3月1日に承認されました。(令和元年6月1日開所予定)

(7) 事業実施の詳細は別紙付属明細書を参照。

4. 職員研修

(1) 外部研修 横浜市健康福祉局障害支援課 サービス管理責任者研修受講

(2) 内部研修 法人全体研修受講(年3回)

5. 事業実施体制

(単位=人)

事業所名	管理者	サービス 管理責任者	世話人	生活支援員	職業指導員	看護師	医師	
つ る の 里	生活介護	1	1		9		1	1
	就労継続支援 B型	1	1		3	8		
ケアホーム らら	1	1	4	7				
ケアホーム りり	1	1	4	3				
ケアホーム るる	1	1	3	5				
ケアホーム もも	1	1	5	5				

【つるみ福祉用具係】

1. 事業運営方針に関する取組

(1) 平成30年10月からの貸与価格の上限設定の導入により売上減少が見込まれましたが、当法人では上限価格より低い価格設定の物も数多くあり、法改正による目立った売上減少はありませんでした。平成31年度は給付抑制効果が薄かったことから、貸与価格の上限価格の改定を見送る事(H31年4月10日)で決定されましたが、消費税に関して現状では10%に変更される予定の為、価格変更による売上減少の可能性を考慮する必要があります。

(2) 法人内の売上に関しては大幅な価格の値下げを行わなかったことから、目標設定値よ

り高い数字を残す事が出来ました。法人外では介護保険改正に伴うデータの入力業務、介護請求ソフトの入れ替え等で、営業活動での新規開拓が出来ていなかった為目標数値の半分の達成率となっています。

次年度は法人外に重点を置き、月1回の訪問と商品説明会等を行い目標達成に努めていきます。

2. 事業実施目標・実績 (単位=千円)

事業所	H30年度売上目標 (構成比)	H30年度売上実績 (構成比)
法人内	36,000 (93.5%)	38,271 (96.4%)
たすけあい	16,500 (42.9%)	16,485 (41.5%)
つるみ	19,500 (50.6%)	21,786 (54.9%)
委託(法人外)	2,500 (6.5%)	1,413 (3.6%)
合計	38,500	39,684

達成率 (たすけあい) 99% (つるみ) 111% (委託) 56%

3. 事業実施体制 (単位=人)

職種	区分	保有資格	備考
管理者	常勤兼務 1	福祉用具専門相談員	
福祉用具専門相談員	常勤兼務 3	福祉用具専門相談員	

【研修センター】

1. 事業運営方針に関する取組

ホームヘルプサービス事業における最重点課題は訪問介護員等の担い手を継続的に確保出来る体制になっているかということです。訪問介護員の資格取得希望者の減少は、高齢者、障害者の生活を支援する人材の減少となっています。初任者研修等の継続はヘルパー人材確保に必要不可欠の事業なので、今後も介護職員の育成をもって当法人の福祉サービス事業の更なる発展に寄与していきます。

2. 事業実施目標・実績

(1) 介護職員初任者研修の開催 (年間6回)

① 開催概要

- ・開催月 5月・7月・9月・11月・1月・3月
- ・通学コース、全日程を21日間
- ・受講料 50,000円(2回) 40000円(4回) テキスト、消費税込

・募集定員 18人 ・受講者 74名

平成28年度の受講者数を100とすると、平成29年度は109、平成30年度は111となり受講生は微増でしたが増加傾向にありこの機を捉えたいと考えます。福祉業界では依然として人手不足が蔓延しており、横浜市で計画中の初任者研修講座あるいは生活援助従事者研修受講生への補助金支援に期待します。

短期習得希望の受講生は潜在的には多いと思われます。外国人ヘルパー増加が予想されるので、外国人受講生への研修方法についての見直しを検討していきます。

(2) 同行援護従業者研修の開催

平成23年度以前に取得した視覚障害者ガイドヘルパーの資格は平成30年3月31日をもって終了となったので、職員に新規取得を促しサービス活動に支障がないように開催しました。年度中に2回の開催を目指しましたが、第2回の研修(平成31年3月6日から4日間を予定)は募集定員18名に対して2名の応募しかなく中止となりました。

応募人数の少なかった原因としては、乗り物実習を依頼していた川崎鶴見臨港バスからの許可を受けるのに時間がかかった為、募集期間が約1か月間と短くなり、広く浸透しなかった事と、同行援護従業者資格取得希望者が減少傾向にある事が挙げられます。

・開催日 7月4日、7日、11日(一般)・7月11日、18日(応用)

・募集定員 24名 ・受講者 19名

(3) 受講生に対してキャッシュバック制度を設け、当法人に登録後ヘルプ活動が180時間に到達した時点で40,000円のキャッシュバックを行いました。平成30年度は6名の修了生がこの制度を利用し、現在も活躍しています。

(4) 介護福祉士実務者研修は11月末までに事業者指定を取得し、平成31年2月に開講しました。

・募集定員 15名 ・受講者 14名

(5) 全身性障害者ガイドヘルパー養成講座は、事業者指定は取得しましたが、事前調査による受講希望者が2名であった為、開講要件を満たす事ができず、開催を見送りました。現在、講師の確保が困難な状況にあり、今後も開催は難しいと予想されます。

(6) 鶴の学び舎職員研修

・「第21回 居宅ケアプランと連動した訪問介護計画」

〈つるみ〉 6月13日 8月22日

〈たすけあい〉 6月13日 7月27日 8月27日 9月12日

サービス提供責任者の業務を総合的に見直し、ニーズに沿った計画の策定、計画に沿ったサービスの提供、各能力の向上を図りました。

- ・「第 22 回鶴の学び舎」：テーマ 訪問介護記録の正しい書き方について
7月 21 日から 4 回に分けて開催した。 開催場所：研修センター
参加者：146 名
研修の主眼点：訪問介護記録「お客様のご様子」欄の適切な書き方を学ぶ。
- ・「第 23 回鶴の学び舎」：テーマ ヒヤリ、ハットについて
11 月 25 日（日） 開催場所：鶴見大学会館 2F サブホール 時間：13：30～16：30
参加者：139 名
研修の主眼点：事業所内でのうっかりミス（ケアレスミス）防止対策。
効果が出ているか今後の検証が必要となります。
- ・「第 24 回鶴の学び舎」：情報公表対応研修
1 月 27 日（日） 開催場所：崎陽軒本店 6F 会議室 時間：14：30～17：30
参加者：132 名
ヘルパーも含めた職員数が年々増加している中で、職員研修はOFF-JT化しています。
小グループ化研修も検討していましたが全体のベクトル合わせには困難があり、今後の課題となります。

3. 事業実施報告

詳細は別紙の付属明細書参照。

4. 事業実施体制

	常 勤	備 考
管理者	1	
職 員	2	

【訪問介護課 つるみ 24 訪問介護係】

1. 事業運営方針に関する取組

- (1) 退院直後の不安定な利用者や、重度の利用者の受け入れを目指しました。
- (2) 自治体、病院、地域ケアプラザ、その他の介護事業者と連携し、事業内容が地域に理解してもらえるようにしました。
- (3) 訪問介護事業に関する研修の充実

- ① 訪問介護サービスの提供に関する研修会に積極的に参加し、職員の専門性および実践力の向上を図りました。
- ② 人権研修、接遇研修等に参加し職員資質の向上を図りました。
- ③ 管理者研修会等へ参加し業務管理と人材育成を適切に行いました。

2. 事業実施実績

(単位=人)

	平成 30 年度利用目標	平成 30 年度利用実績
定期巡回・随時対応型訪問 介護看護	8	7
夜間対応型訪問介護	15	15

目標 8 名に対して 7 名と達成できませんでしたが、契約者ご逝去および施設入居によるマイナスが 7 名あり 30 年度の契約者数としては 14 名と、目標を大幅に達成しています。今後も営業活動を継続して行なう事により利用者数を増やしていきます。

3. 事業実施報告

- (1) 利用者の開拓は、医療機関からの退院者の受け入れを重点とし、病院の医療相談員・ソーシャルワーカーとの情報共有を密にしました。
定期的訪問・情報収集を行なった結果、医療機関からの退院者受け入れは少ないと判断し、地域ケアプラザ、居宅介護支援事業所への営業訪問に重点を置きました。
- (2) サービス提供と質の向上
 - ① 利用者の身体状況の変化を的確に把握するとともに、職員間の情報共有を常に行う事でサービスの質の向上を目指しました。
 - ② 介護支援専門員のサービス実施計画書を基に、利用者のニーズに沿った介護サービス計画を作成し、提供しました。
 - ③ 身体介護等の提供にあたり、より安全かつ快適なサービスを提供するために、作業手順書の見直し及び業務改善を図りました。
 - ④ リスクの分析、評価を定期的に行い、事故防止に努めました。
- (3) 職員資質の向上と人材の育成
 - ① 各種研修会に積極的に参加し、業務に対する知識・技能の向上に努めました。
外部研修には、シフト人員不足により参加できなかった為、次年度は参加できるよう、体制を整えていきます。
 - ② 事業所の研修や学習会に参加し、職員全体のレベルアップを図りました。
 - ③ 介護福祉士等の各種資格取得の奨励、支援を行いました。

4. 事業実施体制

(単位=人)

	常勤兼務	非常勤兼務	備 考
管 理 者	1		
計画作成責任者		1	
オペレーター	2	3	
訪問介護員		1	

開拓期で利用者数が不安定なため、当面は管理者が深夜随時対応を兼ねるなど、介護職員の確保については固定人員を増やさず、柔軟な雇用形態のメリットを活かして、新たな人材開拓の推進を目指しました。しかし、管理者が深夜随時対応で人員不足を補った結果、ケアマネジャーとの信頼関係を損ないかねない事態を生じてしまいました。管理者1名、常勤オペレーター4名が必須であると確認し、人材確保に努めました。

平成 30 年度事業報告 付属明細書

【法人全体（共通）】

1 職員基礎データ（平成 31 年 3 月 31 日現在）

（1）性別

	内勤職員		登録訪問介護員		合計		備考
	実数	構成比	実数	構成比	実数	構成比	
男性	18	18.2%	8	7.4%	26	12.5%	
女性	81	81.8%	100	92.6%	181	87.4%	
合計	99	100.0%	108	100.0%	207	100.0%	

（2）種別

	内勤職員		登録訪問介護員		合計		備考
	実数	構成比	実数	構成比	実数	構成比	
常勤	57	57.6%	0	0%	57	27.5%	
契約	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
非常勤	42	42.4%	108	100%	150	72.5%	
合計	99	100.0%	108	100%	207	100.0%	

（3）年齢構成

	内勤職員		登録訪問介護員		合計		備考
	実数	構成比	実数	構成比	実数	構成比	
20歳代	2	2.0%	0	0%	2	1.0%	
30歳代	7	7.1%	2	1.8%	9	4.4%	
40歳代	23	23.2%	18	16.7%	41	19.8%	
50歳代	27	27.3%	31	28.7%	58	28.0%	
60歳代	23	23.2%	34	31.5%	57	27.5%	
70歳代	16	16.1%	23	21.3%	39	18.8%	
80歳代	1	1.0%	0	0.0%	1	0.5%	
合計		100.0%	108	100.0%	207	100.0%	

2 規程類および様式等の制定、改正の実績

制定	規程等の名称	施行	備考
2/27	定款施行細則の改正	2/27	
11/28	有期契約職員就業規則の改正	12/1	
2/27	職員給与規定の改正	2/27	
4/1	育児・介護休業等に関する規則の改正	4/1	
1/15	弔慰金規則の制定	1/15	
12/1	委員会等設置規程の制定	12/1	
3/20	年次有給休暇取得計画届	4/1	

3 経営企画会議の開催

No.	定例	期日	主要議題
1	4月	4/25	事故報告、超過勤務時間の報告・訪問介護員の契約更新について
2	5月	5/30	事故報告、事業実績報告、各担当の課題
3	6月	6/27	「あさひを支える会」決算報告、人事給与制度改革について
4	7月	7/25	「求められる職員像」の作成について、指名研修について
5	8月	8/29	地域貢献活動の推進について、「ノー残業デー」導入試行検討
6	9月	9/26	組織機構の改編について、事業実績報告
7	10月	10/31	人事給与制度改革進捗報告、海外研修報告
8	11月	11/28	新給与表について、鶴の学び舎・新年会について
9	12月	12/26	新給与表適用の報告、横浜市男女共同参画貢献表彰報告
10	1月	1/30	次年度事業計画について、人事考課について
11	2月	2/27	次年度事業計画について、実践改善検討会(仮)について
12	3月	3/27	人事考課の実施について、事業実績報告

4 事故報告

【部署別】

部署名	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	小計
法人本部総務		1	1		2	1	1	1			1	1	2	11
つるみ訪介		3	6	2	2	1				1	3	6	3	27
つるみ居介支		4	4	2	1			3	2	2		2		20
福祉用具					1									1
たすけあい総務				1										1
たすけあい訪介		1	1	3	3	1						1		10
たすけあい居介支			3								3	1		7

つるみ 24				2								1	3
つるの里			1	1						1	1		4
ケアホームらら								1			1		2
ケアホームりり				1			2	1				1	5
ケアホームるる												1	1
月別小計	9	15	9	13	3	1	6	4	3	8	13	8	92

【種類別】

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	小計
誤与薬				1								1	2
サービス提供漏れ 手配忘れ、遅刻	2	1	1	1	1					1	4	1	12
サービス利用手続 ミス、誤請求	3	4	3	3				2	1	5	4	3	28
依頼受付内容処理 漏れ	1	3			1	1	1						7
誤送付・誤送信		3		1									4
体調不良、転倒、 ケガ		1	3	3			2	2			1	2	12
障害当事者の第三 者への他害				1									1
当事者の行方不明				1			1					1	3
物品の破損・紛失	2	1	2	2	1				1	1	3	1	14
信用失墜行為、不 誠実な対応	1	1							1		1		4
交通事故		1					2					1	4
月別小計	9	15	9	13	3	1	6	4	3	8	13	8	92

【訪問介護部門】

1 内部研修

No.	期 日	研 修 名	
1	6/13, 8/22	第 21 回 居宅ケアプランと連動した訪問介護計画	つるみ
2	6/13, 7/27 8/27, 9/12	第 21 回 居宅ケアプランと連動した訪問介護計画	たすけあい
3	7/21, 7/29, 8/10, 8/22	第 22 回 訪問記録及び実施記録の書き方について	研修センター
4	11/25	第 23 回 ヒヤリ・ハット	鶴見大学サブホール
5	1/27	第 24 回 全体研修	崎陽軒本店

2 外部研修

No.	期日	研 修 名	主 催 者 等	参加者/所属
1	4/17	学校見学	北綱島特別支援学校	1 つるみ
2	6/20	福祉サービス第三者評価に関する事業者説明会	社会福祉法人神奈川県社会福祉協議会	1 つるみ
3	6/21	広域ヘルパー事業所懇談会	港北区社会福祉協議会	1 つるみ
4	8/22	確認しよう！平成 30 年度介護報酬改定～②在宅編	在宅医療トレーニングセンター	1 つるみ
5	9/9	障害者特性介護 頸髄損傷	NPO Care Vista 川崎	1 つるみ
6	9/18	平成 30 年度 9 月例会	鶴見区訪問介護連絡会	1 つるみ
7	9/19	集まれ！かいごのチカラ	横浜市訪問介護連絡協議会 横浜市介護支援専門員連絡協議会	1 つるみ
8	12/13	身体介護技術の基本のき	神奈川県社会福祉協議会	2 たすけあい
9	2/23	第 13 回全国事例発表会	(社)全国介護事業者協議会	1 つるみ
10	3/17	障害支援者向け研修会	横浜市こども青少年局	1 たすけあい
11	3/28	医療・介護従事者としてがん患者さんとどう接していけば良いでしょうか？	全国介護事業者協議会	1 たすけあい

【障害福祉部門】

1. 共催事業 (鶴見障害児者団体連合会・鶴見区社会福祉協議会)

No.	名 称	期 日	場 所	参加者	備 考
1	青空福祉バザー	6/8	鶴見区役所前広場	6	13 団体
2	赤い羽根共同募金	10/1	J R 鶴見駅周辺	15	
3	ふれあい運動会	11/4	旧東海道公園	27	全 600 名
4	障害者週間キャンペーンパ ネル展示	12/3～ 7	区役所 1 階区民ホール		
5	障害者キャンペーン (ティッシュ配布)	12/3	鶴見駅西口	7	200 枚配布
6	バスハイク (区障連)	2/8	ディズニーランド	21	全 300 名

2. 加盟団体の事業 文化・スポーツの参加

No.	名 称	期 日	場 所	参加者	備 考
1	ふれあい文化発表会	3/8	鶴見公会堂	21	7 団体

3. 他団体・地域参加と交流

No.	名 称	期 日	場 所	参加者	備 考
1	蛇も蚊も祭り	6/3	生麦町内会	11	
2	白幡神社北部奉賛会夏祭	8/5	二本木第二公園	12	
3	鶴見川サマーフェスティバル・盆踊 り・花火大会・ふれあい祭り	8/18	生麦町内会	9	
4	川島第四町内会夏祭り	8/19	東川島水道みち公園	13	
5	鶴っこ部会鶴見シャツ販売	10/1 10/2	鶴見駅ビルシヤル	8	
6	川島東部連合大運動会	10/7	川島公園少年野球場	14	
7	ラポール美術展出品見学	10/22 10/26	横浜ラポール	39	
8	生麦地域ケアプラザ祭	11/5	生麦地域ケアプラザ	6	
9	鶴っこ部会区民文化祭	11/14	区役所 1 階ロビー	7	
10	鶴っこ部会 障害者キャンペ ーン販売	12/4 12/7	区役所 1 階ロビー	8	
11	道念稲荷初午祭り	2/11	生麦町内会	8	

4. 内部事業 利用者相互の交流

1) 誕生日会

No.	期 日	場 所	該当人数	参加者	備 考
1	4/20	つるの里	1	24	
2	4/23	ケアホームもも	2	11	
3	4/30	東川島町第四会館	1	23	ケアホームらら・りり
4	5/20	東川島町第四会館	2	23	ケアホームらら・りり
5	5/28	つるの里	1	25	
6	6/10	アメリカンドリーム鶴見店	2	10	ケアホームるる
7	6/15	東川島町第四会館	4	23	ケアホームらら・りり
8	6/19	ケアホームもも	1	11	
9	6/26	つるの里	4	25	
10	7/13	東川島町第四会館	1	23	ケアホームらら・りり
11	7/16	ケアホームもも	1	9	
12	7/22	アメリカンドリーム鶴見店	2	10	ケアホームるる
13	8/24	東川島町第四会館	3	24	ケアホームらら・りり
14	8/31	つるの里	1	27	
15	9/28	つるの里	3	25	
16	9/16	アメリカンドリーム鶴見店	2	19	ケアホームるる・もも
17	9/23	東川島町第四会館	2	23	ケアホームらら・りり
18	10/19	東川島町第四会館	1	24	ケアホームらら・りり
19	10/26	つるの里	3	25	
20	11/16	東川島町第四会館	2	22	ケアホームらら・りり
21	11/20	ケアホームもも	1	11	
22	12/9	ケアホームるる	1	10	
23	12/21	つるの里	1	26	
24	1/30	つるの里	2	25	
25	3/12	ケアホームもも	1	10	
26	3/13	つるの里	2	26	

2) ハイキングの会

No.	名 称	期 日	場 所	参加者	備 考
1	るる・もも交流会	5/5	新横浜たあぷる館	11	ケアホーム るる・もも
2	お花見（全国都市緑化よこ はまフェア）	5/5	里山ガーデン		ケアホーム らら・りり

3	馬場花木園散策	5/26	馬場花木園	11	ケアホーム るる・もも
4	紫陽花見学	6/15	都筑区	15	つるの里
5	プール、入浴	7/16	ふれーゆ	10	ケアホーム らら・りり
6	絵画鑑賞（フェルメール光 の王国展）	8/13	そごう美術館	13	ケアホーム らら・りり
7	絵画鑑賞（フェルメール光 の王国展）	8/19	そごう美術館	13	ケアホーム るる・もも
8	日本丸横浜みなと博物館見 学	10/21	みなとみらい	12	ケアホーム るる・もも
9	プラネタリウム鑑賞	3/12	はまぎんこども宇 宙科学館	11	ケアホーム らら・りり

3) 七夕祭り

No.	名 称	期 日	場 所	参加者	備 考
1	七夕祭り	7/6 7/7	ケアホームらら・ りり・るる・もも、 つるの里	全員	

4) 防災訓練

No.	名 称	期 日	場 所	参加者	備 考
1	火災・大地震発生対応避難	9/11	ケアホームるる	全員	
2	訓練	9/11	ケアホームもも	全員	
3	〃	9/18	ケアホームらら・り り	全員	
4	〃	10/12	つるの里	全員	

5) クリスマス会

No.	名 称	期 日	場 所	参加者	備 考
1	クリスマス会	12/21	つるの里	全員	
2	〃	12/21	ケアホームもも	全員	
3	〃	12/23	ケアホームるる	全員	
4	〃	12/24	ケアホームらら・りり	全員	

6) 元旦祝

No.	内 容	場 所	参加者	備 考
1	おせち料理取り寄せ	ケアホームらら・りり・るる・もも	全員	
2	初詣参詣	杉山神社・鶴見総持寺	全員	ケアホーム るる
3	〃	神明社	全員	ケアホーム らら・りり
4	〃	鶴見総持寺	全員	ケアホーム もも
5	獅子舞	生麦町内会	全員	ケアホーム るる・もも

7) 節分（豆まき・恵方巻特別膳）

No.	名 称	期 日	場 所	参加者	備 考
1	節分	2/1	つるの里	全員	
2	〃	2/3	ケアホームらら・りり	全員	
3	〃	2/3	ケアホームるる・もも	全員	

8) ひな祭り（特別膳）

No.	名 称	期 日	場 所	参加者	備 考
1	ひな祭り	3/1	つるの里	全員	
2	〃	3/3	ケアホームらら・りり	全員	
3	〃	3/3	ケアホームるる・もも	全員	

9) その他の活動

No.	名 称	期 日	場 所	参加者	備 考
1	ガーデニングを楽しむ会	4/23	ケアホームるる	4	
2	こどもの日特別膳	5/5	ケアホームらら・りり・もも	全員	
3	杉山神社例大祭パレード、おみこし	8/5 8/6	杉山神社		ケアホーム るる・もも
4	ふれあい祭	8/26		4	ケアホーム るる
5	川島第四町内会花火大会	8/30	川島第四町内会	14	ケアホーム らら・りり

6	お月見会 月見だんご	9/15 9/30		全員	ケアホーム らら・りり り・るる・ もも
7	絵画鑑賞 (モネ 100 年展)	9/17	横浜美術館	12	ケアホーム らら・りり
8	月見団子作り	9/30		3	ケアホーム るる
9	生麦町内会秋祭り、おみこし	10/8	生麦町内会	10	ケアホーム るる・もも
10	カレーライス作り	10/18		5	ケアホーム るる
11	ギョウザパーティー	11/23		4	ケアホーム るる
12	バレンタイン 折紙のメッセージカード	2/14		10	つるの里
13	ホワイトデー 折紙メッセージカード	3/13		10	つるの里
14	"お花見とカラオケの会	3/31		12	ケアホーム るる・もも

5. サービスの充実

1) ケアホームらら・りり・るる・もも及びつるの里に、自動体外式除細動器(AED)を導入しました。

らら・りりりで1台、るる・ももで合わせて1台、つるの里で1台を導入し、ケアホームは12月19日に、つるの里は12月26日に操作方法を学んで緊急事態に備えました。

2) 就労作業の充実

陶芸製品・竹細工のコースター・ナイロンたわし・アイロンビーズ製品・手織製品等、より良い製品作りに励みました。又、季節を“ちぎり絵”で表現し全員で取り組むことで共同生活の大切さを作業の中から学び、喜びと達成感を体験しました。

今年度は“ちぎり絵”で法人内の各事業所名を入れたパネルを作成し、日頃の感謝を込めてそれぞれの事業所に寄贈しました。

3) 農作業の充実

「つるの里」で利用する農地として、鶴見区獅子ヶ谷2-25「シェア畑横浜鶴見」を継続して借りました。年間185,400円で、1.6×3.0=4.8㎡農作業の指導も受けました。

今年度は、いちご、さやいんげん、小松菜、きゅうり、なす、ミニトマト、ピーマン、ブロッコリー、ジャガイモ等、色々な野菜を収穫しました。また、つるの里広場のプランターにいちごや野菜を植えました。

4) パン工場の製品充実

新メニューの開発のため、パン教室に勉強に行くなどをして基本から学び、より美味しい商品ができるように日々研究開発に努め、季節限定商品もメニューに加えしました。また、販売先を開拓し、高齢者有料老人ホーム、デイサービス等で販売して売上を向上させました。

5) 施設外就労

横浜市からの委託事業として、岸谷公園と別所公園の清掃作業を9名の参加者で年間10回行いました。

鶴見区からの委託事業として、1200部のポスティング作業を10名の参加者で年間2回、1週間行いました。

4) 健康相談

ケアホームらら、りり、るる、もも、で月1回のバイタルチェックを行い、利用者の相談を受けることでコミュニケーションを取りつつ健康維持に努めました。

6. あさひを支える会との共催事業

平成30年8月26日つるの里で、あさひを支える会が主催する流しソーメン納涼祭と子育て支援会を、共催により盛大に開催しました。当日は、ボランティアの協力をいただき、お昼に合わせてかき揚げや赤飯・ゆかり入りのおにぎりと一緒に食しながら歓談する機会を作りました。

平成30年12月15日つるの里で、あさひを支える会が主催する餅つき交歓会を、共催により盛大に開催しました。当日は、横浜美味俵の協力をいただき、参加者90名がお昼に合わせて搗きたてのお餅とおでんと一緒に食しながら歓談する機会を作りました。

【研修センター部門】

1. 介護職員初任者研修開催実績

通期	研修会場	募集数	受講数	達成率	受講料
第31期	鶴見研修センター	18名	10名	55.6%	500,000円
第32期	鶴見研修センター	18名	6名	33.3%	300,000円
第33期	JA横浜港北支店会議室	18名	11名	61.1%	440,000円
第34期	鶴見研修センター	18名	15名	83.3%	600,000円
第35期	鶴見研修センター	18名	14名	77.8%	560,000円
第36期	鶴見研修センター	18名	18名	100.0%	720,000円
全6コース		108名	74名	68.5%	3,120,000円

※参考 受講者数の過年度との比較

(単位=人)

講座名	目標	実績		
		平成28年度	平成29年度	平成30年度
5月コース	18	12	9	10
7月コース	18	10	9	6
9月コース	18	8	14	11
11月コース	18	11	14	15

1月コース	18	17	14	14
3月コース	18	7	11	18
合計	108	65	71	74

2. 鶴の学び舎（法人職員内部研修）実績

通期	期 日	研修会場	研 修 テ ー マ	受講数
第22回	7/21, 29 8/10, 22	鶴見研修センター	訪問介護記録の正しい書き方について	146名
第23回	11/25	鶴見大学会館	ヒヤリハットについて 講師：榎学宣 山田豊文氏	139名
第24回	1/27	崎陽軒本店	認知症及び認知症ケアについて、倫理・法令遵守、プライバシー保護、接遇、事故防止、緊急時対応、虐待防止、感染症・食中毒	132名

3. 同行援護従業者研修

期 日	研修会場	受講数	備考
7/4・7/7・7/11（一般） 7/11・7/18（応用）	鶴見研修センター	19名	

4. 介護福祉士実務者研修

期 日		受講者数	備考
平成31年2月 ～ 令和元年6月	通信講座による自宅学習の後、鶴見研修センターでスクーリング	14名	

